

2016年3月11日

各 位

SBIホールディングス株式会社

バイオテクノロジー及びヘルスケア事業領域のベンチャー企業を
投資対象とする韓国におけるファンドの設立について

当社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝）の持分法適用関連会社であり、韓国におけるベンチャーキャピタルである SBI インベストメント코리아株式会社（本社：韓国ソウル市、代表取締役：高橋 良巳、以下「SBI インベストメント코리아」）は、今後の成長が期待される世界各国のバイオテクノロジー及びヘルスケア事業領域の有望なベンチャー企業を投資対象とするファンドを設立することとなりましたので、お知らせいたします。

このたび設立するファンドは、SBI インベストメント코리아のほか、韓国大手金融グループである IBK (Industrial Bank of Korea) など複数の韓国企業から総額 300 億韓国ウォン（約 28 億円）の出資を受けて設立する予定です。なお、SBI インベストメント코리아としては、出資者が民間企業のみで構成される初のファンド設立となります。

世界的に高齢化や人口増加が進み、新興国でも所得増加による医療支出の増加等が今後見込まれる中、バイオ医薬品を中心とした難病治療薬の開発やその普及への期待が高まっています。SBI グループでは、これまでも IT、モバイル・ワイヤレス分野と並ぶ成長分野であるバイオ・ライフサイエンス関連分野におけるベンチャー企業に積極的に投資を行っており、同分野でのベンチャー企業の投資・育成に豊富な実績を有しています。今後も引き続き次世代の産業育成と投資先であるベンチャー企業の企業価値の向上に積極的に取り組んでまいります。

【ご参考：新ファンドの概要】

ファンド名	IBK-SBI Bio Fund 1号
設立時期	2016年3月
運用期間	5年
投資対象	世界各国のバイオテクノロジー及びヘルスケア事業領域の有望なベンチャー企業
ファンド規模	300億韓国ウォン（約28億円）（予定）

※1 ウォン=0.094 円にて換算

以 上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126